

## 自然いっぱい！笑顔いっぱい！新緑のさんべで自然体験

### 1 趣 旨

- ・交流の家のプログラムを通して、自然体験の楽しさを知り、自然に親しみをもつとともに、体験活動に興味・関心をもつ。
- ・親子で一緒に活動することにより、親子活動の楽しさを知る。
- ・家族同士で関わりながら活動し、交流する。
- ・体験活動に興味・関心をもつことで、以降も体験活動をしたいという意欲をもつ。

### 2 事業の概要

#### (1) 期日

- ① 令和5年5月3日（水）【日帰り】
- ② 令和5年5月7日（日）【日帰り】 ※応募者がいなかったために実施せず

#### (2) 会場

国立三瓶青少年交流の家

#### (3) 対象

主として小学生～中学生とその家族

#### (4) 参加者

募集人数 各回30人程度

- ① 4人（2家族） 応募人数 4人
- ② 0人 応募人数 0人 ※実施せず

#### (5) 日程・内容

9:00～	受付
9:30～10:00	はじめの会・事前指導
10:00～15:00	男三瓶山登山（姫逃池登山道→男三瓶山→名号登山道） ※雨天時 カプラ、木の葉のスタンプバッグ作り
15:00～	終わりの会

### 3 事業の特色

#### (1) プログラムデザインと企画のポイント

- ・出会ったばかりの家族同士の緊張をほぐすため、始めの会で参加者がキャンプネームを決めて自己紹介を行い、より早く仲良くなれるようにした。
- ・男三瓶山の頂上において、三瓶山のカルデラの地形を紹介する時間を取り、三瓶山に興味・関心をもつようにした。
- ・参加者が三瓶の自然に関心をもつようにするため、登山地図に載っている植物、ブナ林などの紹介を登山中に行った。
- ・登山の後に振り返りの時間を設定し、家族で達成感や自然体験活動の楽しさを再認識する時間を確保した。
- ・雨天時に家族で協力して活動できるようにするため、午前はカプラ、午後は木の葉のスタンプバッグ作りを行うように企画した。

#### (2) 運営のポイント

- ・親子で協力して登山ができるようにするため、三瓶山の登山ルートの中でも比較的登りやすい姫逃登山口コースと名号コースを選択した。

- ・利用者の安全のため、当所の職員2人が先頭と最後尾につき、標高が150m上がるごとに、小休憩を取りながら登山を行った。

#### 4 参加者へのアンケート結果

##### (1) アンケートの集計 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
プログラム	100	0	0	0
運営	100	0	0	0
職員の対応	100	0	0	0

##### (2) 参加者の声

- ・親子で楽しめてよかったです。
- ・三瓶青少年交流の家を利用してよかったです。もっといろいろな方に三瓶青少年交流の家を知ってもらえたらいいと思います。
- ・他の山にも登ってみたいです。
- ・夏休みの昆虫観察や登山リスクマネジメント研修も行いたい。

#### 5 成果と課題

##### 《成果》

- ・「親子で楽しめてよかった。他の山にも親子で登ってみたい。」という参加者の感想から、親子での体験活動の楽しさを参加者に感じてもらった。
- ・登山中に家族で励まし合ったりお互いの頑張りを認め合ったりする参加者の様子など、親子の積極的な関わりが見られた。

##### 《課題》

- ・年度当初、イベントカレンダーを各学校に配布したが、参加者が集まらなかった。



姫逃池登山ルート  
(登山の様子)

男三瓶山頂上の様子  
(集合写真・室の内見学)

名号登山ルート  
(下山の様子)

(担当：企画指導専門職 其山 佳裕)